

2025年 日本医科大学(前期)

【 講評 】

昨年度と同様に、第1問が長文読解問題、第2問が第1問の長文の内容と関わる自由英作文、そして、第3問が発音・アクセント・語彙・正誤問題であった。第1問の長文読解問題は、問題文が2000語程度で例年並みであった。問題文自体は読みやすいが、設問が問題文の出現順ではなく、問題文の中の下線部や空所に対応する設問を確認するのにも手間取る。読解のどの段階で設問を解けばいいのかの研究ができていたかどうかとも、この長文を時間内にこなすためのポイントとなる。それに加え、客観問題以外に、記述問題の解答の作成の仕方を練習できていたかどうかも、得点をとるカギとなっている。第3問の発音・アクセント・語彙・正誤問題は、すべて基本的な問題だったので、全問正解を目指したい。

【 解答・解説 】

[I]

[解 答]

問1 [1] argued [2] reject [3] accompanied [4] analyzing [5] becomes [6] arising

問2 (ア) be→have (カ) died→die

問3 「運動、頭の体操、厳格な食事制限、ビタミンやサプリメントの摂取によって可能な限り長生きしようとするアメリカ人の妄想的な考え方」

問4 Medical advances have reduced the number of deaths from strokes. However, ironically the number of people living with disabilities after a stroke in old age has increased. By using an example of a stroke, the author suggests that longevity is not always a good thing.

問5 (う)

理由：第14段落で「医師が検査や治療を勧めた場合、それを拒否する正当な理由を求められ、また医師や家族からの強い要求によって、治療や検査を受けざる負えない状況がある」と述べられているため。

(か)

理由：第9段落で「罹患期間の短縮とは、高齢まで生きた後に痛みも身体的な衰弱もなく、突然死ぬこと」という定義が述べられているため。

問6 c 問7 a, c 問8 a, c 問9 c 問10 d 問11 a, d

[解 説]

問1 [1] argued :

- ・that 節を目的語としている点に着目する。that 節を目的語にとる argue の過去分詞形を入れると、「私は、全ての終末期にある患者があわれみ深い死を迎えるように注力すべきだと長らく主張してきた」という意味になり文脈に合う。

2 reject :

- ・直後の文で「この異常なまでに寿命を延ばそうとする無謀な行為は誤った考えである」と述べられているため、空所に「拒絶する」の reject の現在形を入れると、「私はこの強い願望を拒絶する」という意味になって文脈に合う。

3 accompanied :

- ・空所に accompany の過去分詞形を入れると be accompanied by... 「…と同時に生じる」という表現となり、空所を含む文も「長寿化と障がいの増加が同時に生じる」となって文脈に合う。

4 analyzing :

- ・「…を分析する」の意味の analyze を現在分詞形にすると、「人が 4 分の 1 マイル歩くことができるかどうかを分析して」という意味の分詞構文となって文脈に合う。

5 becomes :

- ・of concern は「問題となる、重要な」の意味の形容詞句でここでは補語になっている。したがって、補語を取る become を主語の The situation に合わせ becomes とするのが正解。

6 arising :

- ・空所の直後の from に着目する。arise from... 「…から生じる」を現在分詞句にすると、the public-policy issue arising from the increase in life expectancy 「余命の延長から生じる公的な問題」となって文脈に合う。

問 2

(ア) be→have

- ・未来完了形が正しい。「(75 歳までに) 人生の課題を遂行しているだろう」という意味。

(カ) died→die

- ・「(未来に) 死んだあと」の意味なので現在形が正しい。

問 3 • American immortal 「アメリカ人の不死」については第 5 段落でその定義が述べられている。

問 4 「医学の進歩によって脳卒中による死者数は減少した。しかし、皮肉なことに、高齢期に、脳卒中から回復したのち様々な障害で苦しむ人は増えてしまった。脳卒中の例を挙げることで、筆者は長寿が必ずしもよいことだとは限らないということを示唆している」

問 5 選択肢の意味

(あ) 過去 60 年にわたって、余命の伸びは若い世代ではなく高齢者が原因であった。

(い) 幫助死を望む人々は、身体の耐え難い痛みではなく絶望感のような問題のためにそれを望むことが多かった。

(う) 現在の医療技術のおかげで、患者は治療を受け入れたり拒否したりすることが容易になったと筆者は考えている。

(え) 筆者は、質の高い医療を求める高齢者を指導する医療従事者である。

(お) 筆者は、最近の臨床試験の結果から、アルツハイマーの治療や予防の進歩に懐疑的である。

(か) 罹患期間の短縮とは、医学の進歩の結果として寿命が伸びることを期待する考え方と定義できる。

問 6 「本文によると、次の中で筆者について正しいのはどれか」

- a. 「彼は、75歳になる前に末期的な病気を発症することを心配している」
- b. 「彼は、末期の病気との闘いを終えるために75歳での安楽死を検討している」
- c. 「彼は、75歳の後、医療に対して異なるアプローチをすることを決めている。」
→第15段落に、「75歳以降は緩和ケア以外の治療を拒否する」という筆者自身の方針が述べられている。
- d. 「彼は、75歳まで生きることができないかも知れないと心配している」

問7 「本文の最初の3段落から読み取れるものを、次からすべて選べ」

- a. 「長生きすることによって、他人に対する認識の仕方と関係の築き方を損なうと筆者は考えている」
→第2段落で、「長生きし過ぎると、自分に対する他人の経験と関係性を変えてしまう」と述べられている。
- b. 「家族や友人との親密な関係性を維持することで長生きできると筆者は主張する」
- c. 「長寿の利点より、欠点が上回る転換点があると筆者は示唆する」
→第2段落で、「長生きし過ぎると、損失も生じる」と述べられている。
- d. 「筆者は、自らの人生観を強く信じているが、それは家族にも支持されている」

問8 「本文によると、Crimminsと同僚による研究結果について正しいものを次の中からすべて選べ」

- a. 「2006年において、高齢の女性は男性よりも多くの障がいを抱えている」
→第10段落最終文の内容と一致する。
- b. 「1998年より2006年の方が高齢男性の障がいは少ない」
- c. 「2006年において、80歳以上の男性の42%近くが、通常の運動機能に問題を抱えていた」
→第10段落最終文の内容と一致する。
- d. 「80歳以上の男性の数が1998年から2006年で増加した」

問9 「本文によると、筆者の75歳以降の計画について正しいものを次の中からすべて選べ」

- a. 「彼は命に関わる病気以外では治療を拒否するつもりである」
- b. 「彼はたとえ意識がなかったとしても、医師に自分の希望を伝える手段を持つつもりである」
- c. 「彼は結腸やその他あらゆるガンの検査をしないつもりである」
→第15段落で、筆者は緩和ケア以外のすべての検査や治療を拒否すると述べられている。
- d. 「彼は通常のインフルエンザの注射のような、病気に対する予防的手段を取るつもりである」

問10 「本文によると、次の中でどれが正しくないか」

- a. 「85歳以上のアメリカ人のうち、30%以上がアルツハイマー病になっている」
- b. 「1900年代初期から30歳以上平均余命は伸びている」
- c. 「認知症になる高齢者の数は、2050年までに3倍になる」
- d. 「脳卒中による死者数は2000年から2010年に増加した」
→第12段落で、「脳卒中による死者数は2000年から2010年で20%減少した」と述べられている。

問11 「本文によると、筆者の見解について読み取れるものを次の中からすべて選べ」

- a. 「彼は、身近な人からの批判は避けられないと考えている」
→第18段落の内容と一致する。
- b. 「彼は、医療資源や公共の政策への配慮に基づいて、医療に対する何らかの手法を規定することに賛成している」
- c. 「彼は、高齢と医療に関する自身の考え方方が変わる可能性はないと示している」
- d. 「彼は、老化によって自然に生じる障がいと闘う以外の手段があることを人々に認識してもらいたい

い」

→第 20 段落で、「老化によって行動を制限されたりすることに対して、代替手段があることを人々に知ってもらいたい」と述べられている。

[Ⅱ]

[解 答]

The author describes continuing to live after physical and mental deterioration due to aging as a loss, and states that he will refuse any treatment other than palliative care after the age of 75. I don't quite agree with this opinion. Certainly, developing a serious illness like Alzheimer's places a significant burden not only on the individual but also their family and friends. However, with advances in medicine and public health, more people are not only living beyond 75 but also staying active and enjoying life well past 100. Some people even take up new hobbies like mountain climbing or start attending school to continue learning after turning 100. I cannot agree with the idea of giving up such hopes early and abandoning treatment. I believe in the potential of medicine and look forward to the possibility of enjoying a second century of life. (144words)

[解 説]

大問 I での筆者の意見を簡潔にまとめ、それについてどの程度同意できるかを論述する自由英作文。

解答例全訳 「筆者は、年を取り身体や精神が衰弱してから生き続けることを損失と表現し、75 歳以降は緩和ケア以外の治療を拒否すると述べている。私はこの意見にあまり同意できない。確かに、アルツハイマー病のような深刻な病気になると、本人だけでなく家族や友人にも多大な負担をかける。しかし、医療や公衆衛生の進歩によって、75 歳どころか 100 歳を超えて元気に活動し、人生を謳歌している人も増えてきた。中には 100 歳を超えて登山など新しい趣味を始めたり、学校に通って学びを続けたりする人もいるらしい。そのような希望を早くからあきらめ、治療を放棄するという考えにはやはり同意できない。私は、医学の可能性を信じ、2 回目の世紀を楽しむ日を期待している」

[Ⅲ]

[解 答]

問 1 b, c 問 2 a, c, d 問 3 b 問 4 (1)c (2)d 問 5 (1)a (2)d

問 6 (1)e (2)d 問 7 (1)d (2)a 問 8 (1) a (2)b

[解 説]

問 4 (1)と(2)のそれぞれの意味を持つ単語を選ぶ問題。

- a. conservation 「保存」
- b. consolidation 「強化」
- c. constitution 「憲法、法令」
- d. convention 「伝統」
- e. conversion 「転換」

(1) 「国家や組織を統治する基本的な法律や原則」

この意味に合うのは c である。

(2) 「特に社会的状況における一般的で受け入れられている行動」

この意味に合うのは d である。

問 5 (1)と(2)のそれぞれの意味を持つ単語を選ぶ問題。

- a. persistent 「粘り強い」
- b. precedent 「前の」
- c. prevalent 「普及している」
- d. prominent 「卓越した、有名な」
- e. prudent 「用心深い」

(1) 「困難に直面して何かを続ける」

この意味に合うのは a である。

(2) 「とてもよく知られ、重要な」

この意味に合うのは d である。

問 6 (1)と(2)のそれぞれの意味を持つ単語を選ぶ問題。

- a. bruise 「あざ」
- b. expedition 「遠征」
- c. glimpse 「ちらりと見ること」
- d. prospect 「(うまくいく) 見込み」
- e. pursuit 「追求」

(1) 「何かを探したり手に入れようとする行為」

この意味に合うのは e である。

(2) 「何かよいことが起きる可能性」

この意味に合うのは d である。

問 7 (1)と(2)のそれぞれの意味を持つ単語を選ぶ問題。

- a. attain 「達成する」
- b. crumble 「崩れる」
- c. dwell 「住む」
- d. mock 「あざける」
- e. stumble 「つまずく」

(1) 「おもしろおかしく真似をすることで誰かを笑いものにする」

この意味にあるのは d である。

(2) 「長期にわたって挑戦したのちに何かを成し遂げること」

この意味に合うのは a である。

問8 (1)と(2)のそれぞれの意味を持つ単語を選ぶ問題。

- a. awe 「畏怖」
- b. claw 「かぎ爪」
- c. deed 「行為」
- d. oath 「誓い」
- e. pier 「桟橋」

(1) 「誰か、もしくは何かに対する大きな敬意や愛好の気持ち」

この意味に合うのは a である。

(2) 「動物や鳥の鋭い曲がった爪」

この意味に合うのは b である。

お問い合わせは 0120-302-872

<https://keishu-kai.com/>